

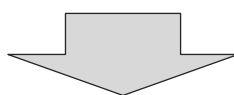
# 成田市公共施設等総合管理計画

## 概要版

### 1. 計画策定の基本的事項

#### 計画策定の目的

- 成田市はこれまで、人口増加や市民ニーズに対応するため、多くの公共施設やインフラ資産を整備してきました。しかし、時代の変化や少子高齢化の進行、自然災害の影響などにより、公共施設やインフラ資産に求められる役割や機能が変化しつつあります。また、本市の公共施設やインフラ資産は老朽化が進行しており、公共サービスを安定して提供し続けるため、改修や建替え等を適切に行っていく必要があります。
- 本市の財政状況を見ると、財政力指数や経常収支比率などの各種財政指標において財政運営の健全性は保てられているものの、歳入では市町村合併の特例措置が期限を迎え、普通地方交付税が2016（平成 28）年度から段階的に縮減されるなど、大幅な歳入増を見込むことは難しい状況であり、歳出では、扶助費、公債費といった義務的経費の増加が見込まれるほか、少子高齢化対策など、取り組むべき課題が山積していることから、将来にわたってまで楽観視できるものではありません。



適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させることを目的に、公共施設・インフラ資産の管理に関する基本的な方針を示す「**成田市公共施設等総合管理計画**」を策定します。

#### 計画期間

**平成 29 年度から平成 39 年度までの 11 年**

※今後の上位・関連計画の見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて適宜見直し

#### 計画対象範囲

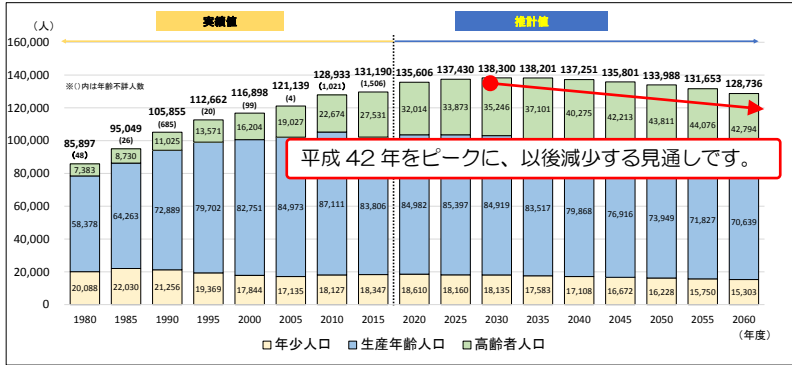
**本市が保有する公共施設及びインフラ資産（公共施設等）が対象です。**

## 2. 公共施設等の現況及び将来の見通し

※グラフの数値については、端数処理の関係で合計値が一致しない場合があります。

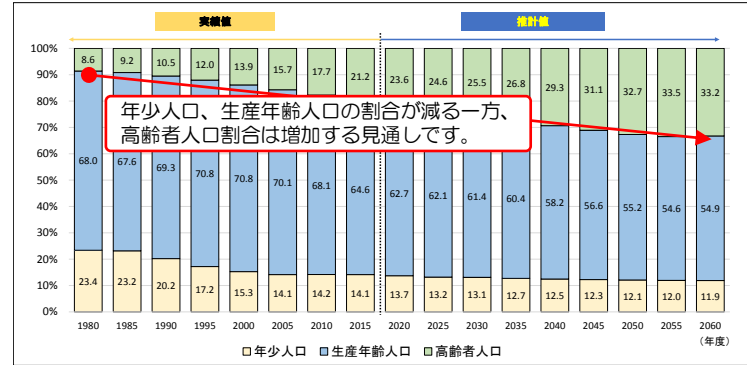
### 人口構造の変化

- 今後も人口の増加が見込まれるものの、少子高齢化は進行し、人口構造が変化する見込みです。
- 人口構造の変化による市民ニーズ等の変化に対応できるよう、公共施設等のあり方を検討する必要があります。



【将来人口の見通し】

出典：実績値は国勢調査、推計値は成田市人口ビジョン（年少人口：15歳未満の人口、生産年齢人口：15歳以上65歳未満の人口、高齢者人口：65歳以上の人口）



【年齢3階層別将来人口割合の見通し】

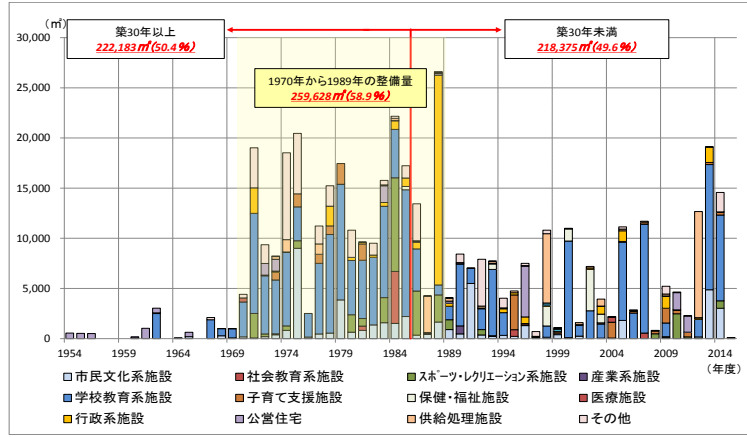
### 公共施設等の老朽化

- 市の公共施設は1970（昭和45）年代から1980（昭和55）年代に整備されたものが多く、老朽化が進行しており、外壁のひび割れや天井の雨漏りなどの劣化が生じています。
- 一般的に鉄筋コンクリート造の建築物は、建築後30年程度で大規模改修、60年程度で建替えが必要なため、今後、大規模改修や建替えなどの施設の更新等が、一時期に集中する見込みです。

施設分類	施設保有量	
	数量	延床面積 (㎡)
市民文化系施設	141	26.4
社会教育系施設	5	0.9
スポーツ・レクリエーション系施設	38	7.1
産業系施設	2	0.4
学校教育系施設	42	7.9
子育て支援施設	91	17.0
保健・福祉施設	14	2.6
医療施設	2	0.4
行政系施設	110	20.6
公営住宅	11	2.1
供給処理施設	25	4.7
その他	54	10.1
合計	535	100.0

分類	種別	施設数等	
		数量	延床面積 (㎡)
道路	一級市道	120 km	1,554,826 ㎡
	二級市道	103 km	1,025,690 ㎡
	その他の市道	853 km	3,563,261 ㎡
	橋りょう	235 橋	7 km
公園	公園	143 箇所	1,274,138 ㎡
上下水道	管路	373 km	567 km
河川	準用河川	23 km	143 箇所
農業集落排水	管路	50 km	431 km
農業用排水路	農業用排水路	431 km	423 km
農道	農道	423 km	

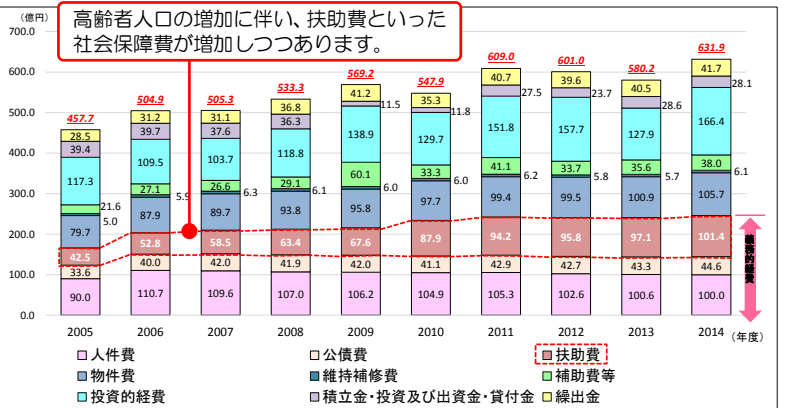
【公共施設等の保有状況】



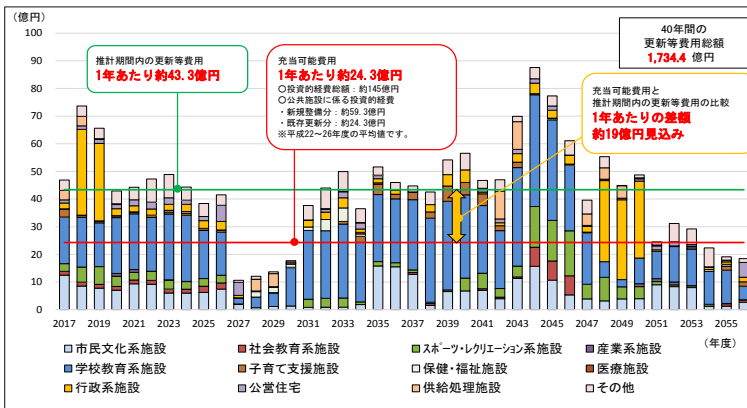
【公共施設の建築年度別延床面積】

### 財政の現況と見通し

- 生産年齢人口の減少などに伴い今後税収（市税）の大幅な伸びが期待できない一方、扶助費が増加傾向にあり、限られた財源を効率的かつ効果的に配分することが求められます。
- 更新時期等の集中により財政負担が大きくなる懸念され、更新等費用の平準化等に取り組む必要があります。



【歳出の状況】



【公共施設の将来の更新等費用の推計】※一般会計施設のみ（総務省が公開する「公共施設等更新費用試算ソフト」にて試算）

## ＜公共施設等マネジメントの基本目標＞

### 将来のまちづくりを見据えて公共施設等マネジメントに取り組みます

成田市総合計画「NARITA みらいプラン」で定めている土地利用の基本方向や「成田市都市計画マスタープラン」で定めているまちづくりの目標を踏まえ、長期的な人口の見通しや利用状況などの動向を考慮し、都市機能の充実を図りながら、公共施設等の規模・配置の適正化を目指します。

### 人口構造・市民ニーズ変化に適応した施設整備に取り組みます

日常生活で特に利用する施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの考えを導入した設備の充実を図るなど、少子高齢化による人口構造変化への適応を目指します。

また、今後、人口構造変化等に伴い、各地域で新たに公共施設・機能のニーズが生じた場合は、各地域を結ぶ公共交通ネットワークの充実及び活用による、地域同士が補完し合う相互補完型の施設整備を推進します。

### 既存施設の長期利用に取り組みます

施設の長寿命化型改修や、機能低下の兆候を検出し使用不可能な状態の前に補修などを行う予防保全型の維持管理に取り組み、既存施設の長期利用を推進します。

### 将来の更新等費用の抑制を目指します

長寿命化型の改修や予防保全型の維持管理等に取り組む事で、公共施設等の将来の更新等費用の低減・平準化を目指します。

また、地域ニーズに応じた公共施設の統廃合等を進めることにより、市が保有する公共施設等の維持・管理費等の適正化を目指します。



### 3. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

#### 点検・診断等の実施方針

##### 【公共施設】

- 施設管理者による日常的な点検・診断の実施（研修やマニュアル整備等による体制の構築）
- 点検結果や修繕履歴等をデータベース等で記録。点検結果に基づく施設の劣化状況を数値化し、次期点検や修繕・改修の予算編成等に活用 / ●「事後保全」から「予防保全」への転換

##### 【インフラ資産】 ※公共施設と同様

- 「事後保全」から「予防保全」への転換 / ●点検結果や修繕履歴等の記録

#### 維持管理・修繕・更新等の実施方針

##### 【公共施設】

- 保全対象施設を選定し、計画的な修繕・更新等の実施
- 更新時等に適正規模や機能の複合化等を検討
- 民間の技術・ノウハウの活用検討

##### 【インフラ資産】 ※公共施設と同様

- 点検・診断結果に基づく優先度に応じた計画的な維持管理更新
- 民間の技術・ノウハウの活用検討

#### 耐震化及び長寿命化の実施方針

##### 【公共施設】

- 成田市耐震改修促進計画に基づく耐震改修の推進
- 保全対象施設を選定し、長寿命化型改修の推進
- 将来の市民ニーズ等を考慮した長寿命化の検討

##### 【インフラ資産】 ※公共施設と同様

- 点検・診断結果等を基に種別毎の特性を踏まえた、耐震化及び長寿命化の推進

#### 統合や廃止の推進方針

##### 【公共施設】

- 施設の今後の方向性を示す、施設評価制度の導入
- 市が保有する必要性が少ないと考えられる施設等の事業の縮小および他の施設との集約化や複合化、廃止等の検討

##### 【インフラ資産】

- 社会経済情勢や市民ニーズを踏まえながら、中長期的な視点を持って必要な整備を計画的に実施

#### 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- 公共施設をマネジメントする意識の向上を目的とした職員研修会等の定期的な実施
- ホームページや広報誌を活用した、取組状況や検討過程等の情報共有

### 4. 推進体制

#### 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

##### [全庁的な取組み体制の構築]

- 公共施設等の情報の一元管理や施設評価の実施、方針の改訂や目標の見直しなどを行うための全庁的な取組体制の構築

##### [情報管理及び共有の方策]

- 一元的な情報データベースの活用、庁内での情報共有
- 施設の利用状況・修繕履歴や点検結果等を把握し、個別施設計画の策定や公共施設の再編を検討

#### フォローアップの実施方針

